

平成 28 年 10 月 3 日

6 年生保護者 様

玉城町立下外城田小学校

平成 28 年度 全国学力・学習状況調査結果について

4 月 19 日に実施した全国学力・学習状況調査につきまして、本校 6 年生の結果分析をまとめました。本結果を今後の教育活動の指針の一つとして、成果は継続して伸長し、課題については改善に向けた取り組みを進めてまいります。また、三重県の学力向上アドバイザーにも学力傾向を分析していただき、指導に活かしていきます。ご家庭でも参考にいただければと思います。

国語

① A 問題（主として知識に関する問題）

出題内容は、漢字の読み書き・話し合いやパンフレット及び物語の内容理解・毛筆習字の注意点理解・ローマ字の読み書きでした。

全国平均を大きく上回る高い正答率でした。

- 漢字の読み書き
- 話し合い・パンフレット・物語文の読み取り
- △ 毛筆習字の注意点
- △ ローマ字の読み書き

《今後》

漢字の読み書きについては、高い正答率があったことから、これまでの学習を継続していきます。家庭での学習も大切だと考えます。ご協力をお願いします。文章の読み取りでは、普段読み慣れていない文章でも理解ができていました。読書経験が全国平均と比べて豊富なことも好影響につながっているのではないかと考えます。

毛筆習字については、普段の授業から注意点を意識させて書く習慣をつけていきたいと考えます。ローマ字は、3 年生で学習しますが、4 年生以上でも折に触れ読み書きや決まりについて確認していく必要があります。

② B 問題（主として活用に関する問題）

出題内容は、(1) インタビュー文からその内容やインタビュアーの意図を読み取ることやこの後のインタビューを与えられた条件に合わせて文章で表現すること、(2) 活動報告文からその内容を読み取り、そこから考えられる課題や結果からの考察を与えられた条件に合わせて文章で表現すること、(3) 調べた資料文をもとに、その内容理解や与えられた条件に合わせて調べた人の気持ちになってそれを文章で表現することの問題でした。

全体的に全国平均を大きく上回る高い正答率でした。

- 読み取った内容をもとにして与えられた条件に沿った文を考えて表現する。
- 目的や意図に応じてグラフを読み取り，自分の考えを書く。
- △ 複数のインタビューメモから要・不要の選択をする。

《今後》

国語Bにおいては，記述式の問題が多く，また何を答えるかの問いの記述までの前段の文が大変長く，回答が困難な内容です。また，文章表現をする上での条件が与えられていることもあり，それに合わせて文を書くことも回答を困難にしています。難しくてもあきらめず，根気強く読み取り表現していく姿勢を養っていく必要があります。その意味から，無回答の割合が大変低く，子ども達のがんばりがうかがえました。今後も，挑戦することの大切さを伝えながら，いろいろな種類の文の読解経験を積み，学力として求められる力をつけていきたいと考えます。

算数

① A問題（主として知識に関する問題）

出題内容は，小数の除法を中心に整数や分数の基本的計算や不等号の理解がありました。また単位量あたりの大きさや割合，三角形の面積を求める考え方を問うものがありました。図形では，三角定規を使ってできる形や直方体の面のつながりの理解を問う問題がありました。

全体的に全国平均を大きく上回る高い正答率でした。

- 計算技能やその意味の理解
- 三角定規でできる形や直方体の面のつながりの理解
- 全体に対して部分の大きさを表す割合の意味の理解
- △ 単位量あたりの大きさを求めるための立式の理解
- △ 百分率で表されている場合の基準量と比較量の関係の理解

《今後》

割合の理解に課題があるという認識のもと，一昨年より復習を継続してきました。一定の成果が表れてきています。しかし，表記が百分率となると問題が解けない一面が見えました。割合の表し方（小数・百分率・歩合）の経験を積み重ねていく必要があります。

計算の意味理解や技能については正答率が高く，取り組んでいるドリル学習等の成果が出ています。また，基本的な図形の概念についても高い正答率だったことから，めあてやふりかえりを確実に行っていく授業を継続していきたいと考えます。

② B問題（主として活用に関する問題）

出題内容は，正方形の辺の長さを変えた時の面積の変化を調べたり考え方の説明を表記したりする問題，ハードルの数とその間隔からハードルの位置を求める式と答え，ハードルを越えるのにかかる時間を基にハードル走のタイムを求める問題，与えられたリボンと厚紙から決められた大き

さのメダルがいくつつくことができるか、どのように作れば効率的かを問う問題がありました。また、表の数字が何を表しているか、グラフの目盛に隠されている変化の大きさを正しく判断してそれを説明する問題がありました。図形に関しては、直角三角形の三角定規を6つつなげて正三角形ができる場合の中心角の計算の意味理解とその説明、三角定規の直角三角形をつなぎ合わせてできる形の理解を問うものがありました。

全体的に全国平均を上回る正答率でした。

- 示された式に数値を当てはめてハードル走のタイムを求める
- 乗法や除法の式の意味を解釈する
- 表に表されている数値の意味理解
- △ グラフの目盛の大きさを基にした正しい読み取り
- △ 四角形を並べてできる複雑な図形の判断

《今後》

全国平均と比べて大きく正答率が下回る問題はありませんでした。学んだ基本的内容を生かして問題に取り組んでいるように感じます。A問題の正答率が高い（学習内容を習得している）ということベースにして多様な解決方法を見つけることを大切に授業を継続していきます。

図形に関しては、複雑になると課題解決が難しくなっている様子がうかがえます。発展問題の経験を積ませていくよう心がけていきます。

学習状況（児童質問用紙）

（１）良好なこと

- ① 食生活を含めた生活リズムができている子の割合。
- ② 考えを話したり聞いたりする活動を十分にしていると思っている子の割合。
- ③ ものごとを最後までやり遂げる、難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する子の割合。
- ④ 将来の夢や目標を持っている子の割合。
- ⑤ 宿題を家でする子の割合や、図書館の利用回数や読書時間が比較的多いこと。
- ⑥ 学校で友だちに会うのが楽しいと思う子の割合。
- ⑦ 総合的な学習の時間が好きな子の割合。
- ⑧ 学校で好きな授業がある子の割合。
- ⑨ めあてが示された授業や振り返る活動を行っていると思う子の割合。
- ⑩ 学級会で話し合っ決めて決まりなどを決める活動を行っていると思う子の割合。
- ⑪ 学級会などで異なる意見や少数意見の良さを生かしたり折り合いをつけたりして話し合う活動を行っていると感じている子の割合。
- ⑫ 学級で協力して何かをやり遂げうれしかったことがある子の割合。
- ⑬ 先生が良いところを認めてくれると感じている子の割合。
- ⑭ 先生が分からないところや間違ったところを分かるまで教えてくれると感じている子の割合。
- ⑮ 友だちとの約束を守っている、人が困っているときに進んで助ける子の割合。

- ⑯ 調査問題で最後まで解答を書こうと努力した子の割合。

(2) 課題と考えられること

- ① テレビ・ビデオ・ゲームの見たり聞いたりする時間。
- ② 携帯電話・スマホでメールやインターネット利用をする時間。
- ③ 家庭学習や休日の学習（塾を含む）時間。
- ④ 授業の予習をする時間。
- ⑤ ニュースを見たりボランティア活動に参加したりすること。
- ⑥ 原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことが難しいと感じる子の割合。

実践状況（学校質問用紙）

(1) 良好なこと

- ① 授業にめあてや振り返りの活動を取り入れている。
- ② 学級やグループで話し合う活動を授業に取り入れることに力を入れている。
- ③ 算数の授業においてティームティーチングの指導を行っている。
- ④ 地域の人材を外部講師として招いて授業を行っている。
- ⑤ 学習規律（私語をしない・話し手の方を向いて聞く・チャイムを守る）の維持を徹底する。

(2) 課題と考えられること

- ① 算数以外でのコンピュータ等の情報通信機器を活用する機会が少ない。
- ② 家庭学習について十分に共通理解を図ることができていない。
- ④ 算数以外でＴＴによる指導ができていない。
- ⑤ 将来就きたい仕事や夢について考えさせる授業を行う。